

平成29年度 学校評価

加古川市立別府中学校

学校教育目標 「一人ひとりを大切にし 共に生きるこころと力を育てる」
めざす学校像 「みんなの瞳 輝く 学校」

～挨拶・協力・感謝の実践化を通して～

＜重点目標＞

- ①知・徳・体をバランスよく育て、「自ら生きる力」を育む
- ②基礎的基本的な学力の定着をはかり、主体的に学び、考え表現する力を育む
- ③生徒の主体的な活動の活性化をはかり、「共に生きる心と力」を育む
- ④いのちを大切に、人権を尊重する教育を推進する
- ⑤一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う
- ⑥危機管理意識を高め、安全・安心な学校を創造する
- ⑦教職員としての指導力と資質向上に努め、よりよい組織形成をめざす
- ⑧地域から信頼される教育の環境づくりに取り組む

○評価基準

- 4:よい
- 3:ややよい
- 2:やや悪い
- 1:悪い

評価指数の平均値は2.5 平均3.5以上で○、2.5未満で△(そのうち2.0未満を▲)として表示

領域	質問項目 (学校の自己評価アンケート)	評価指数		質問項目 (保護者・生徒アンケート)	評価指数		改善の方策	関係者評価	
		今年	昨年		今年	昨年			
学校生活全般	1 生徒のあいさつ	○	3.5	2.7	生 地域や学校で進んであいさつができた。	3.4	3.3	・生徒はよくあいさつができており、落ち着いた学校生活が送れている。 ・学校訪問時の生徒のあいさつが気持ちよい。地域でのあいさつもよい。	
	2				保 自分から進んであいさつをしている。	3.1	3.0		
	3 生徒の協力性		3.1	2.8	生 係や班活動、行事などで級友と協力して取り組んだ	○	3.5		3.3
	4				保 家庭の中で協力的	2.8	2.8		
	5 まわりへの感謝				生 周りの人に感謝している	3.4	3.4		
	6				生 学校生活は充実している	3.4	3.4		
	7 学校生活での充実度		3.4	3.2	保 学校生活を充実感・満足感をもっている	3.1	3.0		
	8				保 学校は子どもが学習するのに適した環境である。	2.9	2.7		
学習(学力向上)	9 学習規律		3.4	2.7	生 ベルスタはできた	3.4	3.4	・ベルスタは定着し、全体として授業は落ち着いた。 ・基礎学力の向上のために朝学習の内容も検討したい。 ・公開授業週間を活用して互いの授業力向上を図る。	
	10				生 準備物宿題提出物	2.8	2.8		
	11 基礎的な知識技能、学力の定着		2.7	2.5	生 授業はわかりやすかったか	3.0	2.8		
	12				保 授業内容を理解している	3.2	2.7		
	13 思考力・判断力・表現力		2.5	2.2					
	14 ことばの力	△	2.3	2.1					
	15 家庭学習		2.8	2.4	生 家庭での学習時間は、3時間以上～30分以下	△	2.4		2.4
	16				保 家庭学習の習慣が身についている	2.6	2.5		
17 教師の授業力向上		2.6	2.6						
18 個に応じた教育的支援		2.7	2.6	保 学習の様子や努力を適切に評価している	2.9	2.9	・わかる子わからない子がいるだろうがどう教えるか工夫してもらいたい。		
人権・道徳	19 生徒の道徳実践力		2.8	2.5				・人権教育については全体計画の評価と早期修正を行い、年度当初に共通理解を図る必要がある。 ・道徳教育については教科化に向けたユニットの取り組みを通して授業力向上を進めることができた。今後も取り組みを進める一方で実践力向上に努めたい。 ・みかしお学級については、みのり学級との合同劇など、新たな工夫をして取り組むことができた。今後もよりよい方向を模索していきたい。	
	20 生徒の同和教育への知識理解度	△	2.4	2.3					
	21 人権・道徳の授業力		2.5						
	22 計画からの実施状況		2.7	2.6					
	23 みかしお学級での活動		2.9	2.5					
特別活動	24 行事、生徒会活動		3.2	2.9	生 委員、係の活動に積極的に取り組んだ	3.3	3.2	・行事や生徒会活動は、評価、改善の繰り返しにより、充実してきている。 ・部活動については一部活動デーなどそのあり方について検討の必要がある。	
	25 部活動を通しての成長		3.2	3.0					
生徒指導	26 生徒の服装・頭髮の乱れ		3.2	2.4				・生徒指導体制が整い、組織的に対応している。 ・生徒指導、不登校、いじめ対策推進委員会を機能させ、問題の早期発見、早期対応に努めたい。 ・細かなルールなど今後も共通理解を図っていきたい。	
	27 生徒の服装・頭髮以外の生活ルール		3.1	2.4	生 ルールを守って生活した	○	3.5		3.4
	28 生徒指導力の向上		2.6						
	29 教師間の共通理解や指導の方向性		3.1	2.6					
	30 学年間の連携		2.9	2.6					
家庭・地域との連携	31				保 現状や取り組みを、便りやホームページなどでわかりやすく伝えている。	3.1	3.0	・よいことはもっと情報発信すべき。 ・生徒が地域に出て行く活動がもっとあってもいいのではないかと。 ・トライやるでの活動が学習につながっていく。学校に任せきりではない。保護者をもっと関わるべきでは。 ・地域行事への生徒の参加についてはある程度、地域に任せたい。	
	32				保 学校をよく知ってもらうために、参観できる機会を適切に設けている。	3.0	3.0		
	33 PTA、地域、ユニットなどの取り組み		3.2	2.9	保 学校行事にできるだけ参加している	3.2	3.2		
	34				保 子どものことについて、気軽に相談することができる。	2.7	2.7		
	35				保 地域や保護者の意見に丁寧に対応している	2.7	2.7		
学校運営	36 学校目標の明確さ		3.1	2.9				・子どもを守る110番の家確認や見直しを小学校PTAや町内会にもお願いしてはどうか。 ・超過勤務時間の1割削減を目標としているがなかなか達成できない。 ・夏以降月1回の職員研修をもっている。今後も継続して取り組み、指導力や資質の向上に努めたい。	
	37 学校としての組織的な活動		3.0	2.8					
	38 勤務時間の適正化・業務改善	△	2.3	2.2					
	39 設備施設の改善		2.6	2.6					
	40 報告連絡相談などの連携体制		3.1	2.8					
	41 危機管理対応		2.9	2.6					
42 研修の充実度		2.9	2.8						